

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立野村高等学校

評価実施日	平成 29年 2月 22日 (水)			
委員	氏名	所属等		備考
	岡田由美子	保護者代表	PTA監事	
	谷本 英樹	地域代表	タニヤ店主	
	土居 眞二	同窓生	西予市教育委員会	
	西岡 良人	城川中学校	教 頭	
	萩森 修一	野村中学校	教 頭	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <p>アンケート結果によると、前年度より学習時間の低下が見られる。文武両道を目指しており、部活動の充実と裏腹な部分もあるが、活動の時間配分に生徒が不安を持っているのではないかと。予習・復習は学習の基本である。継続した指導により、生徒が学習時間を確保するような取組をお願いしたい。</p> <p>また、自分の将来を考える大切な時期になってくるので、個々に目標を持たせて学習させてほしい。</p> <p>中学校における学力向上はまだまだ十分ではなく、家庭学習を充実させなければならない。高校での学習内容に対応できているのか不安でもある。そんな中、高校が手厚い指導をしていただいていると感じる。</p>	<p>1年生は3時間以上学習時間を確保した生徒の割合が57.2% (前年比-18.7%) で学習時間が不足していることが問題である。家庭学習時間を確保した生活習慣の確立や学習方法の改善などを教科担当者やホームルーム担任と協力しながら継続的に指導する。</p> <p>2年生は75.9% (前年比+9.7%)、3年生は77.9% (同+28.1%) の生徒が家庭学習時間を3時間以上確保していた。学年が進むにつれて学習内容も充実し、意欲的、自主的に学習できていると考えている。</p> <p>1日平均3時間以上の学習時間を確保できれば、考査においても好影響が出ていることから、自主的に学習に取り組むことができる生徒を育成する。</p>
<p>(2) 生徒指導</p> <p>バイク通学の生徒が増えているが、重大事故につながることはないよう、交通ルールの遵守及び交通マナーの徹底についてさらなる指導をお願いしたい。</p> <p>高校生の姿が中学生の目標となっており、生徒は目標があると成長する。今後も、中学校と高等学校が連携した教育をお願いしたい。</p> <p>生徒の規範意識が高まっているように思われる。大きな問題を起こすことなく自らを律して生活できている生徒が大部分である。</p> <p>生徒の通学時のあいさつがよい。家庭・保護者・地域との連携もうまくいっている。</p>	<p>学期末の一度であった単車通学生集会を月1度にして、運転記録簿の確認や、通学状況について確認するように改善した。常に安全運転を自覚させる。</p> <p>あいさつについて、「自分からする」ということを心掛けさせ、さらに地域の方々や、校内外に、明るく元気な野村高校生を発信する。</p>

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>(3) 進路指導 進学、就職と幅広い対応をしていただき感謝している。 中学生に先輩方の進路状況や先輩の声を聞かせる機会があると中学生に刺激となる。 今年は類型選択の説明会に多くの保護者が参加した。昔とは違い受験制度も変わっており有意義な内容の説明会だったと思う。 本人の努力もさることながら先生方の指導の下、小規模校ではよく頑張っている。就職もほぼ100%であり地元内定率も高い。</p>	<p>中学生対象の高校説明会では、毎年パンフレットを配布して卒業生の進路について説明しているが、より効果的な説明方法を工夫する。 中学生に先輩の声を聞かせるというのは効果的な試みであると思うので、中学校と連携して検討する。 類型選択の説明会は、将来の進路選択に関わる重要な機会なので、保護者全員に参加していただけるよう、呼びかけを工夫する。</p>
<p>(4) 特別活動 部活動での活躍が生徒の自信となり、学校生活も充実している。今後もますますの指導力強化をお願いしたい。生徒数の減少の中、部活動の存続などの課題があると思われるが、中学生と連携した部活動の継続化に努めてもらいたい。</p>	<p>小人数ではあるが、特徴ある部活動を展開していきたい。できれば中高の合同練習会を増やしていければよいと考えている。</p>
<p>(5) PTA活動 野村高校の保護者は学校運営や行事に協力的であることは伝統的なものがある。また、総体などの大会写真を撮影して高校祭で展示するなど、活発な活動が行われている。</p>	<p>PTA会長をはじめとするPTA役員、理事の協力により、さまざまな活動を充実させることができた。来年度は会員の数が減ることにより、活動が消極的にならないよう、工夫をする。</p>
<p>(6) 人権・同和教育 デートDV防止のための講演会を実施するなど、地域と連携した人権教室も開催され、諸活動が充実している。</p>	<p>今後も地域との連携を深め、本校での人権・同和教育をさらに充実させていきたい。人権の集いや日だまり研修会等の地域での行事に生徒の参加を呼びかける。</p>
<p>(7) 情報教育・読書教育 先生方が書かれた文章や配布されるプリントを拝見すると、いつも良い言葉や内容が書かれてある。これらの内容を生徒に読ませる習慣を身につけさせることが大切で、それが活発な読書活動にも繋がる。</p>	<p>今後もSHRで文章を読む時間を設けるなど、読書環境の充実にも努め、学校全体で読書活動を推進する。</p>
<p>(8) 環境教育 校内が常に整備されており感心する。「美しい」状況であることが生徒の心を育てている。</p>	<p>生徒が快適な学校生活を送ることができるよう、今後も日々環境整備に心掛ける。</p>
<p>(9) その他 野村地域活性化連絡協議会及び野村高校活性化連絡協議会の支援を効果的に活用しており、学校の存続と魅力ある学校経営に繋がっている。 野村自治振興協議会と連携し、西予市地域づくり交付金を利用した「野村地域塾」の開講も、隠岐島前高校視察の成果であり、校長先生の夢が一步步実現する形となっている。 愛顔つなぐえひめ国体の相撲競技補助員として、1年生及び2年生の生徒全員の協力をお願いしたい。</p>	<p>今後も関係機関と連携し、学校の存続と魅力ある学校経営に邁進する。特に、12月より開講した「野村地域塾」の発展に向け、野村自治振興協議会と連携し努力する。 えひめ国体に向け、校内の役割分担を早い時期に決め、全面的な協力体制を構築する。</p>